

行政調査報告書「経済福祉常任委員会」

平成28年7月13日(水)～15日(金)

■あしががフラワーパーク（栃木県足利市）『あしががフラワーパークについて』

あしががフラワーパークは、樹齢150年の藤の古木が、CNNにより「世界夢の旅行先10か所」に選ばれたこともあり、年間入園者は123万人（平成27年）で、年々伸びている。特徴は、その日の藤の花の具合で入園料を決める変動料金制（500円～1,700円）。藤の期間中、ほぼ毎日、テレビ・ラジオの取材がある。ホームページも充実している。成功の理由は、藤の花などをオンリーワン商品に育てたこと、その日の花で料金を決めるというお客様目線、マスコミ、ホームページによる旬の情報発信と思われる。本市の『デンパーク』の施設運営でも、参考になる部分が多いと感じた。



CNN：アメリカ合衆国のケーブルテレビ向けのニュース専門放送局

■埼玉県『ソーラー水素ステーションについて』

埼玉県庁内に設置されたソーラー水素ステーションは、太陽光をエネルギー源として、CO₂を全く出さずに水素供給できる最先端のものであり、普及啓発の役割を果たしている。県内には、自動車産業（ホンダ）が集積し、このタイプを含めて計11か所の水素ステーションがある。県では、水素ステーションの建設費等に補助している。



本市も、国・県とともに、市内の水素ステーションの建設費等に補助している。国・県と連携しつつ、水素自動車の普及状況を見ながら、インフラ補助が必要と感じた。

■東京都世田谷区「世田谷版ネウボラについて」

世田谷区は、妊娠届を提出した妊婦全員（年間約9,000人）を対象に、区の保健師・保育士など専門家2名がチームとなり、話を聞く仕組み『世田谷版ネウボラ』を実施している。事前予約制で30分を確保し、話の内容は、本人の出産に限らず、夫婦や家族の課題まで広げ、必要な情報提供を区から行うことで出産前の懸念を解消し、安心して出産できるように配慮している。

本市にとって、参考になると思われるので、人員確保などの一層の検討が必要と感じた。

